

現場風景

作:鈴木崇之

第1期生23名が集う!

がまわか新聞

第一号

蒲郡若者議会開幕

?!に全貌が明らか!



芦刈議長誕生!!



第一回全体会議 「初顔合わせ」

花の便りが聞かれる暖かな季節、蒲郡市で新たな風が吹いた。四月十三日、市勤労福祉会館にて、若者の目線でもちづくりを考える「蒲郡若者議会」が発足された。メンバーは、高校生が九名、大学生が六名、社会人が八名の二十三名で構成され、今後十三回の会議を重ねていく予定だ。初代議長には、サンヨネ蒲郡店勤務の芦刈純奈さん、副議長にはJA蒲郡市職員の児玉慎吾さんが選出され今後の抱負を述べた。

蒲郡若者議会運営委員会は、この議会の永久継続を目指す。

協力者求む

若者議員は「観光」「娯楽」「子供」「福祉」「地域」の五つのテーマについて政策を検討し、魅力ある蒲郡を考えることになる。課題などを調査する中で、若者議員は多くのまちの人たちと対話をして協力者を求めていくことになる。蒲郡若者議会では、若者議員を支えてくれる協力者を募集している。

次回全体会議は特別ゲスト登場

第二回全体会議は、四月二十七日に蒲郡商工会議所で開催。蒲郡市長や新城市・豊橋市の昨年度若者議会での政策検討した議員たちが登場する。

関係者から続々と胸熱なコメントが寄せられる!

蒲若春秋



蒲郡でも若者議会を設立するべきなのではないかと考えたのは今年の八月。蒲郡について考えたり、議論をしたりする機会が増えてきたその頃、未来の蒲郡を担う若者の意見なくして議論してよいのかと疑問を持ったことがきっかけだった。そこから「蒲郡若者議会運営委員会」を結成して、半年以上かけてこの第一回全体会議に向けての準備をした。全員でこの記念すべき一日を良き出発の日にしよと、運営スタッフは疲労がたまりながらも会議を重ねた。

若者議員も揃いこれからが本番。若者議員と運営委員が団結することで蒲郡に新たな希望が指すことを願う。

蒲郡若者議会ではHPやSNSで情報を開示。関係者は拡散を希望している。

